練馬区立大泉中学校　　学校だより

中 大泉

「人は学ぶ」
「人は変わる」
「人は輝く」

１１月号
令和４年１１月１４日
発行者　新村　紀昭
編　集　菊池　知裕

灯火親しむべし

読書週間にちなんで

皆さんは、「灯火親しむべし」という言葉を知っていますか。この言葉は、唐代を代表する詩人「韓愈（かんゆ）」が、8 世紀頃に「灯火親しむべし」といった詩を詠みました。これは「秋の夜は涼しくて過ごしやすく、明かりを灯して読書するのに適している」という内容です。日本では、かの有名な夏目漱石が 1908 年に発表した「三四郎」という小説で、この詩を引用したことがきっかけで「秋には読書しよう」といった風潮が生まれて、「読書の秋」と呼ばれるようになったとされています。

そして、毎年、１１月３日の文化の日を挟む前後２週間は「読書週間」となっています。この読書週間は、終戦まもない昭和２２年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っている中、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社や書店、公共図書館、マスコミ等が協力して始めた活動で、７０年以上の歴史をもっています。

さて、読書の楽しみとは何でしょうか。先日出た第 76 期生徒会活動方針の図書委員会のスローガンは「夢の入り口～未知の世界に飛びこもう～」で、解説には「自分の知らない無限の可能性を見つけ、図書館が夢の入り口になるように」と書かれています。素敵なスローガンだなと思います。なぜなら私も１冊の本をきっかけとして夢をもち、実現に向けて努力した経験があるからです。

その本は、小学校４年生ぐらいに読んだジュール・ヴェルヌの「８０日間世界１周」です。この作品は１９世紀のイギリスを舞台に、主人公が８０日間で世界一周ができるかどうか、友人と２万ポンドの賭けをして、世界一周の旅をする冒険小説です。主人公は銀行強盗犯に間違えられて行く手を阻まれ、様々な障害に遭遇します。汽船、列車、象、そり等、ありとあらゆる乗物を駆って波瀾に富んだ旅行がくり広げられ、わくわくどきどきしながら読んだことを覚えています。私自身が外国に行くことを夢見た最初のきっかけとなった本であり、私は教員として３年間、スペインバルセロナの日本人学校に行くことで、その夢の一端をかなえました。

読書は、自分の人生では味わえない、他の人の人生を体験できたり、時空を超えて、過去や未来の世界を体験できたりします。また、歴史上の人物と友人になることもできます。小説中の様々な場面で、登場人物の考え方や気持ちを知ることによって、現実の日常生活の中で自分の言動に活かしたり、人の気持ちを想像したりすることもできると思います。さらに、現実にはありえない状況や世の中の暗い部分を見ることもできるでしょう。小説に限らず、本は多くの人の知恵や知識が凝縮されています。正しい日本語、美しい日本語という点でも、語彙力や表現力を高めることができるのです。

そして、このことは君たちの人格を高め、人生を豊かなものにしてくれるでしょう。

本校では、８時１５分からの準備時間に３年生が読書をしている姿をよく見ます。１、２年生の中にも読書をしている人が見られますが、時間に余裕がある時には積極的に読書をしてはどうでしょうか。定期考査が終わり、少し気持ちにも余裕ができたことでしょう。図書委員会では皆さんに読書に親しんでもらおうと、これまでもイベントを開催してきましたが、12 月には 3 回目のイベントを企画しているそうです。ぜひ、友達同士誘い合って図書室に行き、様々な本に親しんでください。校長室前の本も自由に手にとってください。

（11 月朝礼講話より）

◆11月 児童虐待防止月間に合わせて、文部科学大臣よりメッセージの周知依頼がありましたので、掲載します。

「児童虐待の根絶に向けて ～地域全体で子供たちを見守り育てるために～」（文部科学大臣メッセージ）

〇11月は児童虐待防止推進月間です。子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数（速報値）が過去最多を更新、高止まりしており、極めて深刻な状況です。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

〇虐待は、しつけとは違い、子供の成長と人格形成に深刻な影響を与えます。殴る、蹴るといった目に見える身体的虐待だけではなく、食事を与えない、放置する等のネグレクト、言葉によっておどかす、無視する等の心理的虐待、性的虐待など様々な形で行われます。

〇保護者の皆さま、親子の未来を守るため、大切なお子さまの健やかな成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。心に余裕がない時はストレスの解消など、皆さま自身が休むことも大切です。子育てに不安や悩みがある時には、一人で抱え込まずに身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ったりしてください。

〇学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

〇地域の皆さま、是非、子供や保護者の様子に関心を持って見守ってください。みなさまの声かけや日頃からのつながりが、保護者の不安軽減にもつながります。そして、子供の衣服や体がいつも汚れている、保護者が子育てに無関心であるなど虐待が疑われるサインに気付いた際は、ためらわずに最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」（“いちはやく”）に相談・通告してください。

〇児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が一丸となって子供たちを見守り、育てる体制づくりが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

全国すべての子供たちへ

〇毎日元気に過ごせていますか。大人からたたかれたり、無視されたり、悲しくてつらい時はありませんか。あなたやあなたのお友達ともだちが困っていたら、一人で悩なやまず、学校の先生やスクールカウンセラー、近所の人 など周りの大人に相談してください。あなたの力になりたいと思っている人は、たくさんいます。近くに相談できる人がいない、見つかるのが怖くて相談できない、そんな時は電話やSNSで相談できます。ためらわずに相談してください。文部科学省は、みなさんが健やかに成長し、毎日を楽しく過ごせるよう応援しています。

【SOS 相談窓口 ここからあなたの話を聞かせてください】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

◆10月31日（月）の全校朝礼では、「ヤングケアラー」について話しました。本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。もしも重い責任や負担を感じている生徒がいたら、自分のことや家のことを話すのは勇気がいると思いますが、ぜひ、同じように相談してください。

がんばる!! 大泉中生 ～部活動等の記録～

◆ソフトボール部 令和4年度東京都中学校秋季ソフトボール大会 第3ブロック大会 準優勝

◆バドミントン部 第59回練馬区中学校生徒総合体育大会 新人大会 女子総合 優勝

女子シングルス 小林 梨華 第５位

女子ダブルス 楠田美空・木田愛里 組 第１位

峯岸弥生・小原美希 組 第２位

◆陸上競技部

第75回東京都中学校支部対抗 陸上競技選手権大会

２年女子 １００ｍH 髙沼 幸奈 第５位